

【参考資料】観光による経済効果の推計

平成25年度に、職員の政策形成能力の向上を図るため、観光・経済研究プロジェクトチームを設置し、観光消費の動向調査、観光客の実数の推計、経済波及効果の推計を行った。観光客の実数推計、観光消費額の算出は、観光商工課が行った推計方法と異なるため、結果数値も若干異なる。

交通手段ごとの観光客実数推計値（年間）

交通手段	利用者数推計値
J R 鎌倉駅	5,206,240 人
J R 北鎌倉駅	76,562 人
江ノ電鎌倉駅	1,148,435 人
路線バス	25,521 人
自家用車	433,853 人
バイク	25,521 人
自転車	102,083 人
徒歩	51,042 人
大型観光バス	306,000 人
J R 大船駅	2,817,898 人
合計（観光客実数）	10,193,155 人
うち宿泊	319,000 人
うち日帰り	9,874,155 人

観光消費額の算出

費用	宿泊	日帰り	合計
農産物	0 百万円	80 百万円	80 百万円
水産物	0 百万円	142 百万円	142 百万円
お菓子・加工品	1,409 百万円	10,961 百万円	12,370 百万円
工芸品・小物	186 百万円	3,104 百万円	3,290 百万円
市内交通費	250 百万円	3,776 百万円	4,026 百万円
寺社拝観料	199 百万円	3,377 百万円	3,577 百万円
入館料	0 百万円	324 百万円	324 百万円
飲食費	1,996 百万円	29,921 百万円	31,917 百万円
合計	4,041 百万円	51,685 百万円	55,726 百万円

(1) 一次波及効果の推計

一次波及効果とは、直接効果による関連産業との取引増加額、つまり関連産業の売上の合計を指す。直接効果は、観光消費額の合計額 55,726 百万円を用いる。

$$\begin{array}{rcl} \boxed{\text{直接効果}} & \times & \boxed{\text{逆行列係数}} = \boxed{\text{一次波及効果}} \\ 55,726 \text{ 百万円} & & \text{逆行列係数 (107 部門)} \quad \underline{72,860 \text{ 百万円}} \end{array}$$

(2) 二次波及効果の推計

二次波及効果とは、一次波及効果の雇用者所得が消費に転換することで発生する経済効果を指す。

$$\begin{array}{ccccccc} \boxed{\text{一次波及額}} & \Rightarrow & \boxed{\text{雇用者所得増分}} & \Rightarrow & \boxed{\text{消費増分}} & \Rightarrow & \boxed{\text{部門別民間消費増分}} \\ 72,860 \text{ 百万円} & & 18,853 \text{ 百万円} & & 13,574 \text{ 百万円} & & 13,574 \text{ 百万円} \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} \boxed{\text{部門別民間消費増分}} & \times & \boxed{\text{逆行列係数}} = \boxed{\text{二次波及効果}} \\ 13,574 \text{ 百万円} & & \text{逆行列係数 (107 部門)} \quad \underline{16,867 \text{ 百万円}} \end{array}$$

(資料) 平成 25 年度鎌倉草創塾研究結果報告書